

■ 戦略研 77th ミーティング議事録

日時：2010年12月4日(土) 14:00-17:00

場所：東京・竹橋 ちよだプラットフォームスクウェア

テーマ：「2010年戦略研と日本の振り返り」

発表者：戦略経営研究会／運営委員会

参加者：参加者 13人（発表者除く）

（銀行員、財務コンサルタント、会社員、サービサー、公務員、
NPO 法人理事長、行政書士、司法書士等）

代表挨拶：代表より挨拶、戦略経営研究会及び講師、講演の趣旨の紹介

近況報告：各参加者より

発表：

1. 発表 「2010年戦略研と日本の振り返り」（茂木）
2. ワークショップ 「チームビルディング」（富沢）
3. 議論 「2011年日本の戦略構築のための環境予測」

1. 発表 「2010年戦略研と日本の振り返り」（茂木）

① 戦略研 12年の振り返り

- ・ビジネスパーソン視点にて、国家戦略や政策分野にてアウトプットを目指す。
- ・2005年より公共政策的なテーマに移行（2005年は1年間通して「人口減少社会」を取り上げた）。
- ・2010年4月、「2018年日本の戦略」（茂木私案）を提示。
- ・この戦略のブラッシュアップとともに、この戦略を実行する。
- ・現在、政策シンクタンクとメディアとしてのビジネスモデル構築を議論している。

② 2010年戦略研の振り返り

- ・戦略研のほか、分科会の危機研、農業研、政治研、土業の企画、戦略農政研、また、合同開催の銀座農業政策塾などグループにて、勉強会 30回の開催。
- ・勉強会における、専門家による発表とそれに対する議論からアウトプットを生み出す仕組み。メンバーによる知識や情報、スタッフとしての労力などの
- ・PESTを使った振り返り。P（政治的環境分野）テーマが中心となる。特に、農業政策、そして、安全保障、政策シンクタンク。このほか、E（経済的環境分野）として、農業ビジネスや、T（技術的環境分野）としての、エネルギー情報論など。
- ・具体的に言うと、農業政策分野については、2010年9月の戦略農政研にて、まとめ

を行なった。1.農業政策分野の論点の整理が一般になされていない。2.一つの論点にそれぞれ専門家が存在し、研究、議論を行なっている。3.しかし、一つの論点の専門家が農業を総合的に捉えて、あるいは俯瞰して、研究、議論することは少ない。4.さらに、日本農業のビジョンを説く専門家は稀にいるが、日本のビジョンとの整合を検討している専門家は存在していないといえる。

このような現状から、日本のビジョンの提示、そして、そのビジョンと日本農業の戦略との整合が必要となる。また、総合的な議論のために、たとえば、論点のマトリクスや相関関係の整理が必要となる。

③ 2010年日本の振り返り（議論。付せんを使用）

2010年日本において、印象に残ったことについて、PESTに分類して付せんに記入し、ホワイトボードに貼り付けた。なお、末尾の数字は、記入者個人の印象度の順位。

P)

- ・ 財政問題のさらなる悪化 1
- ・ 改正貸金業施行。貸し渋りで倒産増える 3
- ・ 車、家電のエコ減税、終了または縮小 6
- ・ 国際会計基準の議論 3
- ・ 民主党、ダメ 1
- ・ 民主党のダメ政策
- ・ 民主党は、さよく
- ・ 民主党、行動が遅い 1
- ・ 参院選。民主党の大敗 3
- ・ 民主党、参院選大敗
- ・ 首相のリーダーシップ不足 3
- ・ 大村衆議院議員の愛知県知事選立候補 1
- ・ 自民党町村さんの振り返り 3

E)

- ・ 円高 2
- ・ 円高
- ・ 円高 1
- ・ 円高。回りが落ちているから日本へ集まるのでは 5
- ・ 円高。実はチャンスでは 1
- ・ 低金利、債券バルブ 5
- ・ 一部で地価高め。インフレ前兆 1
- ・ 手取減る方向明確 2
- ・ 大手監査法人のリストラ 4
- ・ 地方経済の停滞 2

- ・中国バブル 6

S)

- ・猛暑 3
- ・アキバだけ好景気。AKB48 4
- ・格差社会、当たり前 2
- ・10代の活躍 1
- ・就職氷河期。CPA 業界 2
- ・大学生就職率過去最低レベル
- ・いじめによる児童、生徒の自殺が連続している 1
- ・100歳以上の行方不明者多数
- ・外交が後手に 2
- ・外交力低下 2
- ・北朝鮮の韓国攻撃 1
- ・北朝鮮の問題
- ・トヨタ自動車のリコール 1
- ・ヨーロッパの火山の噴火

T)

- ・EV 技術進歩
- ・HEV、EV
- ・EV 技術に注目
- ・ECO 自動車、ECO 家電
- ・光の構想、頓挫
- ・ギャラクシー（サムスンの携帯電話） 1
- ・NASA が異質な生命体発見

2. ワークショップ 「チームビルディング」(富沢)

この後の議論に入る前に、今回参加者としてのチームをビルドするためのワークショップを行なった。

合わせて、ビジネススキル向上の要素も加味し、チームのビルド、リーダーとフォロワーの役割につき学ぶ機会とした。

チームビルディングのまとめとしては、①ゴールを作る、共有する。②ゴールまでの行き方を作る、共有する。③状況（現状）を共有する。④メンバー間のコミュニケーションを促進する。

また、日本の問題点としては、「情緒を優先したリーダーの選定」にあるのではないかと。

3. 議論 「2011年日本の戦略構築のための環境予測」

2010年日本において、印象に残ったことについて、PESTに分類して付せんにて記入し、ホワイトボードに貼り付けた。

P)

- ・ 政権麻痺 1
- ・ 政治の停滞 1
- ・ 国会空転、マニフェスト不履行
- ・ ねじれ国会継続、重要法案通らず
- ・ 民主党惨敗
- ・ 政権交代、まだダメになる
- ・ 政党再編
- ・ 内閣支持率、ガンガン下がる
- ・ 統一地方選前後で地方からスターが生まれる
- ・ 雇用確保のために財政圧迫
- ・ 医療費問題顕在化
- ・ 外国人労働者が入れるようになる（人手不足）
- ・ 農地の減少

E)

- ・ 景気、不動産市況底打ち、ゆるやかに上昇
- ・ 3月末決算の回復基調
- ・ 不況の固定化。もう不景気や不況が当たり前になった
- ・ 不景気によりエコ社会定着。買わない、飲まない、遊ばない
- ・ 円高が続く
- ・ インフレ、円安
- ・ 円安、インフレ、金利上昇
- ・ 日本企業のさらなる国際化
- ・ 地方の経済低迷
- ・ 中国バブルはじけて日本のものづくり再評価
- ・ 中国経済失速の兆し
- ・ インドバブル
- ・ 家電業界再編
- ・ 経理転職市場の硬直化

S)

- ・ 高齢化の介護の増加
- ・ 若者の内向き志向が強まる
- ・ 学校中退問題

- ・学校への訴訟が増える
- ・就活不況デモ多発
- ・自殺防止マニュアル本流行
- ・カルト流行
- ・男女平等が進む
- ・粗食ブームで米食回帰
- ・肥満ビジネス上昇
- ・テレビを観る人が減少。インターネットへ
- ・フェイスブックの日本登録者が倍増する
- ・国際結婚が増えて、活性化する
- ・温暖化による農産物不作
- ・アジア人による観光政策作り
- ・北朝鮮崩壊
- ・資源競争

T)

- ・インフラメーカーの再編
- ・技術+デザインの重要性増す
- ・エネルギー新技術
- ・環境技術の向上
- ・花粉症に対する遺伝子療法
- ・宇宙旅行本格化

以上